

備えは家庭・地域から

これから雨の多い季節を迎えます。長雨や、「ゲリラ豪雨」と呼ばれる集中豪雨は、河川の氾濫や土砂災害を引き起こし、大きな被害をもたらします。気象情報に十分注意し、被害を最小限にするため、日頃からの備えを心掛けましょう。

防災に関する情報をメールで配信

市では、防災に関する情報を「なりたメール配信サービス」でお知らせしています。登録方法や配信内容は下記の通りです。

また、大雨で警報などが発令された場合にいち早く情報を伝えるため、防災行政無線で、合成音声による自動放送を行っています。

次の現象に気付いたら、速やかに崖から遠くに離れ、市に知らせてください。

大雨で警報などが発令された場合にいち早く情報を伝えるため、防災行政無線で、合成音声による自動放送を行っています。

防災行政無線は、気象条件や高層建築物などの周辺環境により、聞き取りにくくなる場合があります。聞き逃したときは、防災行政無線テレホンサービス(☎0120・383898)や、市防災情報ホームページ(https://service.sugunai.com/narita/member/portals/)、防災情報ツイッター(https://twitter.com/bousai_narita)などを確認できます。

土砂災害の兆候

災害発生直後は、公的機関による対応(公助)には限界があります。自分の身は自分で守る(自助)という考え方に加え、地域の人同士で互いに協力しながら防災活動に取り組むこと(共助)によって、被害を軽減できます。

共助で高める防災力

地域の人が一体となってまちを守る活動に取り組むための組織を「自主防災組織」といいます。現在、市内では、区・自治会・町内会などを単位として、114の自主防災組織が結成され、避難訓練や救出訓練などの防災活動に取り組んでいます。

まだ結成されていない区や自治会は、地域の防災力を高めるため、



台風により市内で崖崩れが発生(平成25年10月)

土砂災害に注意

崖崩れをはじめとする土砂災害から身を守るには、危険のある場所から離れることが大切です。崖崩れの土砂は、斜面の高さの2倍の距離または5メートル程度まで達するといわれています。

家庭でも備えを

崖の近くに住んでいる人はすぐに避難できるように、非常持ち出し品の準備や、市の指定避難場所、一時的に利用できる近くの集会所などを確認しておきましょう。

組織の結成を検討してください。※くわしくは危機管理課(☎20・1523)へ。

なりたメール配信サービス

登録方法⇒登録用メールアドレス(info-n@sg-m.jp)に空メールを送信後、返信メールに記載されているURLから登録サイトにアクセス(またはQRコードを読み取ってアクセス)、案内に従って登録する



配信内容(選択可)

- 防災情報
- 天気に関する情報
- 消防情報
- 防犯・安全情報
- 防災行政無線情報

※登録方法については、祝日を除く月々金曜日の午前9時～午後6時に受託会社バイザー(☎0570・055・783)へ。